

## コーエンとシフが、反トランプ証言の前まで長時間密会

Michael Cohen が、情報委員会議長 Adam Schiff と度々会合していた

【訳者注】これはマイケル・コーエンという、かつてトランプ大統領の側近（弁護士）だった人物が、何らかの理由で大統領を裏切ろうとした事件で、その訴えに従って、告発の証言が広く公然と行われた。しかし、その裏で、トランプ追い落としを図る民主党のシフ一派が、何度もコーエンと密会していた事件である。しかし、ここには書かれていないが、それが発覚する前に、トランプの「ロシア疑惑」の証拠となるはずの、2016年選挙前に工作のためにコーエンがプラハへ渡航したという「事実」を、民主党はすべて主張していたが、コーエン本人が否定したので、その時点で「ロシア疑惑」は、**またしても**否定されている。

その上に、これだけの明らかな不正な、口裏合わせをやったのだから、反トランプ側の惨めな敗北である。ところでこれは、わが国でもかなり大きく報道された。トランプにとって重大な打撃だから報道したのであろう。それが逆の目に出たのだから、逆方向に重大なはずである。しかしわが国のメディアは、それは忘れたことにしている。——すべてがそうだ。

「ロシア疑惑」も「最高裁の性犯罪判事」も。匂わずことによって、わざと臭く見せかけている。これは普通にもよく使われる、最も下劣なやり方である。

Jay Greenberg, [www.neonnettle.com](http://www.neonnettle.com)

March 08, 2009



シフティ（狡そう）な表情で：  
Michael Cohen(右)と民主党  
Adam Schiff は反トランプ公  
聴会の前まで、10時間も秘密  
に会っていた

報道によると、情報委員会議長アダム・シフ（民、カリフォルニア）と彼のチームは、先月、ニューヨークへ旅し、この前弁護士の毒を含んだ反トランプ証言に先立ち、4回の10時間に及ぶ会合を行っていた。

トランプ大統領の前弁護士コーエンは、今週、下院調査委員に対し、自分が民主党シフのチームと相談していたことを話し、それは、あの注目を浴びた公聴会で、後に論じられたセッションの多くの話題に関するものだったと述べた。

「この問題をよく知る」2人のソースが、フォックス・ニュースに話したといわれるところでは、共和党はいま、この密会が証人を指導するところまで行ったかどうか、調べているという。

このソースによると、National Enquirerの「利用して捨てる」政策、アメリカメディアのCEO デイヴィッド・ペッカー、それにトランプ大統領側近への蔑視、それらすべてがこの秘密の会合に動員され、コーエンの証言に際して利用されたという。

<https://www.foxnews.com/entertainment/catch-and-kill-explained-inside-the-practice-of-burying-negative-news-stories>

<https://www.foxnews.com/politics/national-enquirers-plea-deal-badly-hurts-tabloid-and-potentially-trump>



先月のマイケル・コーエンの反トランプ証言で、いくつかの穴が見えてきた

フォックス・ニュースによれば、共和党は納得できない旨を発表し、オハイオの共和党マイク・ターナーは、コーエンのチームに返答を要求する手紙を送った。

<https://www.foxnews.com/politics/cohen-met-with-schiff-for-more-than-10-hours-before-house-oversight-committee-hearing>

<https://neonnettle.com/tags/republicans>

ターナーは、コーエンの接触があったかどうかの確認を求め、その相手は、「民主党員、または SSCI(情報上院委員会)の民主党スタッフ、COR(下院調査・改革委員会)または HPSCI(情報恒久下院調査委員会)のメンバーで、先週の両院委員会の出席者で、先立って姿を見せた者がいるか」であった。それに、その接触の長さ、会合の場所、正確に誰が関わっていたかであった。

「こういう質問は、自分の見ていたのが、そもそも目撃証言だったのか、公聴会だったのか、上手なりハーサルだったのかを理解するのに、重要なのです」と、彼は書いた。

先月の7時間の下院監視委員会の公聴会で、コーエンは、オハイオ共和党下院ジム・ジョーダンからの質問に対し、彼はシフと、「予定されていた公聴会であげられるはずの話題について」話し合ったと、しぶしぶ認めた。

しかし、彼は議論の内容までは言わなかったが、フォックス・ニュースは、公聴会そのものが続いた7時間よりもかなり長い、延長した話を聞いたと言っている。

この劇的な公聴会で、コーエンは1つひとつ、ニューヨークでの話し合いで彼がシフのスタッフと討論したと言われることと、正確に同じ話題をうまくさばいた。

例えば、キャロリン・マローニー下院議員(民、NY)からの質問に応え、コーエンは、トランプに害を与えるニュース物語に対し、右翼に報酬を与えるやり方を論じた(実現しなかったが)と話した。

「私はいくつか、こうした利用して捨てるエピソードには関りましたが、この種の利用して捨てるシナリオは、2007年に私がここで仕事をずっと始める前から、デイヴィッド・ペッカーとトランプ氏の間には存在していたものです。」



共和党は今、アダム・シフとそのチームが、マイケル・コーエンに証言のし方をコーチしたのではないか、と疑っている

コーエンは更に証言を重ね、National Enquirer を出版させているペッカーが、前トランプ・ワールドタワーの門番に 3 万ドルを支払ったことがあり、それは隠し子をもっているとされるトランプの謎を知っているといわれる、その男の口封じだったと言った。

このトランプの前フィクサーが、トランプは「ドキュメントの宝箱」のことを気にしており、これはオレがもっていて、彼を巻き込むこともできるのだと言った。

更にコーエンは、下院議員アレクサンドリア・オカシオ-コーテス（民、NY）からも質問され、「あなたの知っているところで、大統領はこれまでに、保険会社に膨らませる資産を与えたことがありますか？」と訊ねた。

コーエンは「イエス」と答えた・・・(中略)

Eメールでわかったことを訊ねられ、下院情報委員会の代弁者は、シフのスタッフが、公聴会に先立ってコーエンと議論したことは正しかったと弁護した。

「我々は事実を求めて職業的な調査を行っているのだ。だからどんな証言より先に、潜在性をもつ証人に会って、あつかうべき関連した話題を決定できる機会を求めている。それは委員会の始まる前に、無駄な時間を使わないようにするためだ」と、代弁者パトリック・ポーランドは、フォックス・ニュースに語った。

「共和党によるこの公然たる非難にもかかわらず、セッションを自ら行い、委員会が証人をインタビューする前に、証言を吟味させることは完全に正当なことだ。このようなセッションは、どこでも、この国のあらゆる真剣な調査で行われていたことで、議会による調査も同じことだ。」

シフは今週末、CBS ニュースの Face the Nation に、コーエンとの接触の頻度について質問され、“7回”と答えた。しかしシフは、彼自身の接触と、委員会スタッフによる交流の、回数は区別しなかった。

シフはこう主張した——「私の接触の範囲は、いろいろ確かめるために彼を招いたもので、また、彼と彼の家族に対する大統領の、脅迫の心配を除くためだった。…しかし我々スタッフは、確かに坐って彼をインタビューしたから、あなた方がそれを調べることはできる。」

あるシフに近いソースは、スタッフの会合の詳細のいくつかは「正確でなく」、特定の問題を指摘するものでないと主張した。

コーエンについて、下院情報委員会前のこの密室証言に詳しいあるソースは、コーエンとシフのスタッフの会談の回数や内容については、直接コメントしなかったが、もっと広い観点でこう言った——私（シフ）は「コーエン氏の8時間の証言の写しの全部を、公表することを約束する。そうすればコーエン氏は思いが晴れ、その他は想像がつくだろう。」

——以上